

遺伝情報を長期間保存できる生物標本の作製方法の開発



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

中濱 直之

生物標本の遺伝情報

生物標本は、採集された当時の遺伝情報を含むいわばタイムカプセルです。しかし標本のDNAはあっという間に劣化するので、これまで標本の遺伝情報の利用は困難でした。

遺伝情報を長期間保管できる昆虫標本

この度、DNAを長期間保管できる方法を開発しました。この方法は簡単で費用も安く（約10円）、この方法によって作製された昆虫標本は、将来的に遺伝資源としての役割を持ちます。



詳しい作り方はこちらのQRコードからご覧になれます。

DNAを長期保管できる昆虫標本の作り方

1. 昆虫を採集後、脚や胸筋などの筋肉を取り出し、プロピレングリコールと0.2mlチューブに入れる
2. 通常通り作製した標本の昆虫針を、筋肉を入れた0.2mlチューブの蝶番部分に刺す
3. (写真にはありませんが) 採集情報を書いたラベルを刺して、完成！！

